

## 別記様式

## 議 事 録

会議の名称	第2回 岩倉市公共施設再配置計画検討委員会
開催日時	平成29年6月29日(木) 13時10分から15時00分まで
開催場所	市役所7階 第1委員会室
出席者 (欠席委員・説明者)	出席委員：秀島委員長、木本副委員長、大野委員、伊藤委員、櫻井委員、水越委員、平松委員、井上委員、増田委員 欠席委員：矢取委員 説明者：建設部長、教育こども未来部長、都市整備課長、都市整備課営繕グループ長及び係 コンサルタント：中央コンサルタンツ
会議の議題	(1) これまでの経緯について (2) モデルケースについて
議事録の作成方法	<input type="checkbox"/> 要点筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他 ( )
会議に提出された資料の名称	資料1 公共施設再配置計画に関する市民説明会議事録 資料2 モデルケースに対する意見 資料3 関係団体へのヒアリング結果 資料4 モデルケース
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	12人
その他の事項	

## 審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

<p>1 開会 建設部長よりあいさつがされた。</p> <p>2 議事 (1) これまでの経緯について 資料1「公共施設再配置計画に関する市民説明会議事録」、資料2「モデルケースに対する意見」、資料3「関係団体へのヒアリング結果」を基に事務局より説明。 委員長：全ての意見をまともに取り入れていたら先へ進まない。 委員：これまでの委員会の流れとは違った意見が出ているが、我々独自の考えで進めていけば良いのではないか。 事務局：平成30年度に保育園の全体計画、今年度に学校の長寿命化計画を策定する</p>
---

という市の意向であるため、モデルケースの検討をこれ以上進めても整合がとれなくなることを懸念している。

委員長：モデルケースがそれらの計画により変更となった場合、本委員会で再議論していくつもりか。

事務局：それらの計画を反映した形で見直していきたいと考えている。

委員：集会施設のヒアリングについて、区長だけではなく使用していない市民には実施しないのか。

事務局：今後は市民説明会を開催し、客観的な意見を求めていきたいと考えている。

委員：方針を決めた上で市民に意見を求めた場合、白紙に戻る可能性がある。

事務局：財政的に厳しい状態であることを訴えていくしかないと考えている。

委員：先日の市民説明会の時においても、興味があるか実際に利用している人しか参加していなかったと思われる。

事務局：周知方法に問題があったと反省している。次回の市民説明会ではもっとPRを行い、より多くの人に参加してもらいたいと考えている。

委員長：ただ参加してもらっただけではなく、当事者意識を持ってもらうことが重要である。

事務局：課題の深刻さを理解してもらうために、危機感が煽るような資料を作成していきたいと考えている。

委員：ある施設を継続して保持することにより、市民1人あたりの負担額は何円になるなど、明確に示した方が良い。

委員：廃止や譲渡といった方針をただ示すだけではなく、図書館の駐車場が常に満車の状態であるなど、今の問題点や困っていることをモデルケースとして示していけば、より身近な問題として感じてもらえるのではないかと考えられる。

委員：現在のモデルケースは、全て子育て施設が絡んだ計画となっている。岩倉市の目指すべき姿である「いわくらしやすい」を実現するために、複合化や統合によっても魅力ある施設に生まれ変わるといったことをアピールしてほしい。

事務局：再配置による距離の問題をカバーできるような、魅力あるモデルケースとしていきたい。

副委員長：施設の更新時期を一律に考えているが、施設毎に老朽化の状況は異なる。

事務局：今後は各施設の状態を科学的に検証し、理論値と現実との乖離を考慮した計画にしたいと考えている。

副委員長：市立体育館は20年程度前から老朽化していると感じられる施設であったことから、利用者が危険に感じるような施設は、建替え等を優先的に検討して

いくことも一つの手段であると考えられる。

副委員長：図書館に喫茶店を複合化するなど、民間活力を活用して稼働率を上げる取組みも検討するべきであるため、また事例等を紹介してほしい。

事務局：モデルケースの希望の家については、民間活力の活用の可能性を検討していきたいと考えている。また、検討協議会での意見のように、学校プールについては民間施設を活用するなど、民間活力に対する市内での検討が十分ではないため、今後は力を入れていきたいと考えている。

委員：東小学校と希望の家について、廃止は難しいと考えられることから、児童数や稼働率を上げる具体策はあるか。

事務局：今後の取組みが必要である。

委員：東小学校については、外国人が多いなどの特徴を打ち出すことや、理解を深める交流会を開催するなど、受け入れのキャパを増やす取組みが必要と考えられる。また、希望の家については、青少年の育成という制約を外すなど、稼働率を上げる取組みが必要である。

事務局：利用者のニーズや市としての考えを整理した上で、総合的に検討していく必要があると考えている。

委員：4/28の新聞では、愛知県も空き教室の利用、80年までの長寿命化、その長寿命化期間を利用した複合化等の検討、不要なプールの廃止、低層建物の廃止による余剰地の創出など、様々な方針を打ち出していた。そのため、市も右へ倣えで再配置を推進していくことになると思うが、次世代に対して魅力ある街づくりが必要であると考えている。また、集会施設、希望の家、東小学校について個人的な意見を述べさせて頂きたい。集会施設については、国策により防音工事の代償として設置された施設であるが、市内には社務所を利用して自費で運営している地区もあることから、地域は地域で守る理念に立って自分たちで運営していくべきである。市所有として存続させた場合でも、費用負担を明確にしていく必要がある。次に希望の家については、昼間の利用が少ないことを利用し、五条川を守る会などの退職者が引っ張ってほしいと考えている。また、シルバー人材センターの拠点することで、夏休みの期間は子供とのコミュニケーションを図る場になると期待している。最後に東小学校については、新聞の記事の中に生徒の夢がたくさん掲載されていたが、それらの夢を叶えてあげられるような魅力ある街づくりをして頂きたいと考えている。愛知工業高校と東山工業高校の2校を統合後に視察したが、生徒全員が生き生きとしていた。岩倉市も1年中花が見られるような街とすれば、もっと有名な街になると考えられる。

委員長：再配置を検討する上では、そのようなアイデアをもっと吸い上げていくべきである。

(2) モデルケースについて

資料4「モデルケース」を基に事務局より説明

委員：あゆみの家を東小学校に複合化するなど、基本的に再配置では、近くの施設を複合化しようという考えのように見受けられる。

事務局：二次評価は、施設毎の圏域を設定した上で対象施設を選定している。あゆみの家の圏域は市全域であるため、東小学校と切り離して検討することも可能である。

委員：モデルケースとして具体的に提示されると、この案しかないように見受けられる。

委員長：モデルケースは、あくまでも一例として捉えて頂ければ良い。

委員：東小学校は、セキュリティの確保を検討する必要があるが、複合化の案が良いと思われる。1学年に1クラスしかなく皆が顔見知りの状況であり世間が狭いため、違う世界の人と関われる場としてほしいという依頼もある。

委員長：PFIの導入については、岩倉市として力を入れて取り組んでいるか。

事務局：市として取組みが進んでいるとは言えない。

委員長：よく分からないものであり拒絶感があると思うが、無難なケースで一度検討してもらいたい。

委員：再配置計画では総論的な将来ビジョンを描き、その後の実施計画は各分野で詳細に検討することになるが、進行管理をどのように行っていくか教えてほしい。

事務局：この委員会で再配置計画書として策定・公表するが、その後は専門部署を設立する案もあり、そこで進行管理をしていくことになると思われる。また、第1期の10年間でできることとして本モデルケースを検討しようとしているが、5年毎に社会状況等の変化に対応しつつ直しを図りたいと考えている。

委員：将来ビジョンとして、早目に実施するものとそうでないものなど、3段階程度でランク付けし見やすくして頂きたい。

事務局：本モデルケース4つを全て第1期で実施することは、予算の関係上難しいと考えている。その場合は、80年までに長寿命化し平準化を図った上でその中で検討するなど、柔軟に対応していきたいと考えている。

委員：本委員会では、このモデルケースの議論を深めていくのか、それとも最初に戻って大枠を検討していくのか教えてほしい。

事務局：小学校と保育園については個別に計画を策定してからの議論になることを踏まえ、平成 29 年度末の見込みも含めて庁内で再検討し、次回の委員会で報告する。

委員長：再配置計画では、具体案までを示す必要があるのか。

事務局：第 1 期で実施する取組みまでは記載することになるが、深掘りした議論ではなくその前段までで留めることになると思われる。